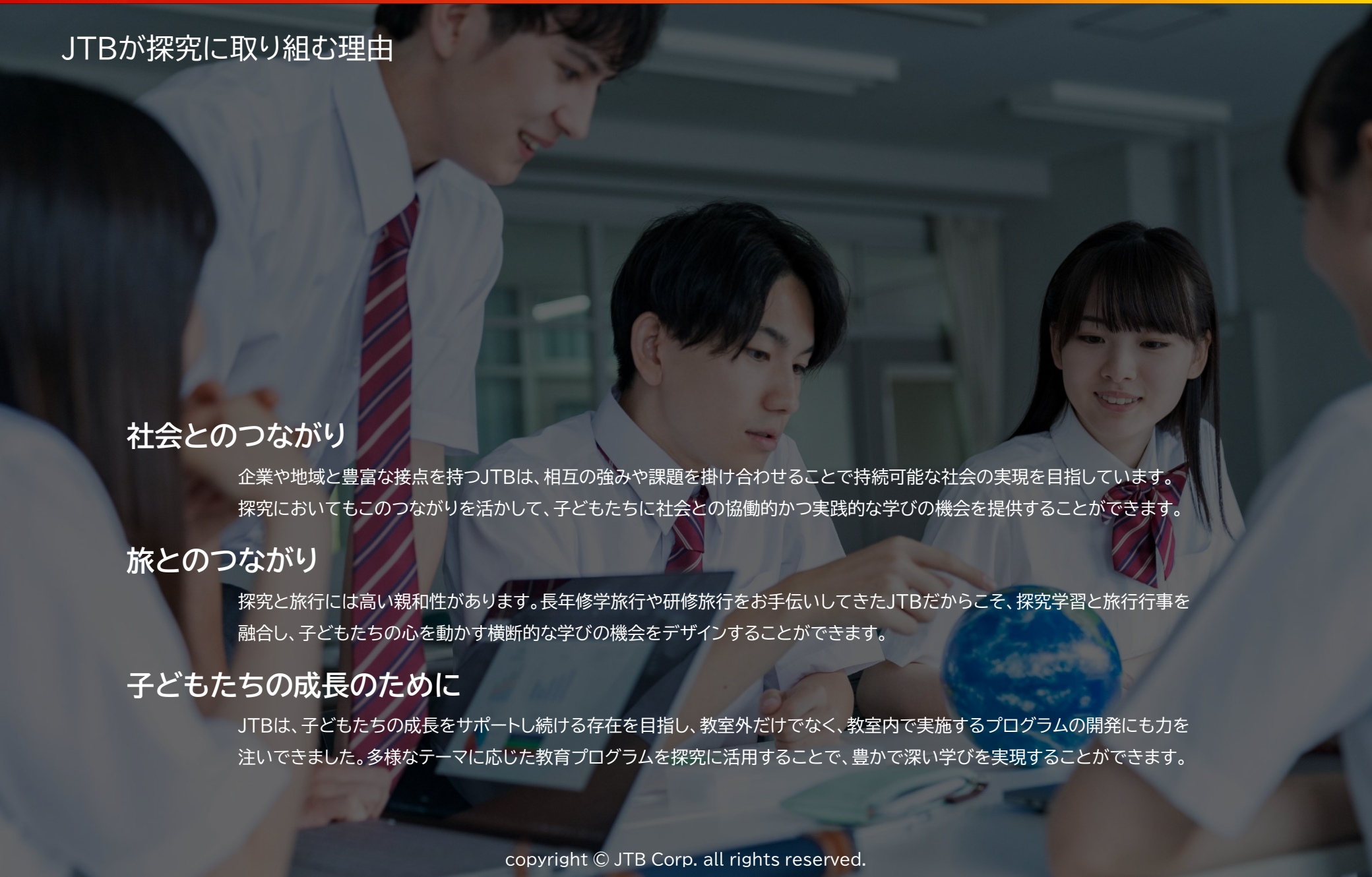
JTBの

探究発表コンテスト
＆ 交流イベント

2026.06

copyright © JTB Corp. all rights reserved.

JTBが探究に取り組む理由



社会とのつながり

企業や地域と豊富な接点を持つJTBは、相互の強みや課題を掛け合わせることで持続可能な社会の実現を目指しています。
探究においてもこのつながりを活かして、子どもたちに社会との協働的かつ実践的な学びの機会を提供することができます。

旅とのつながり

探究と旅行には高い親和性があります。長年修学旅行や研修旅行をお手伝いしてきたJTBだからこそ、探究学習と旅行行事を融合し、子どもたちの心を動かす横断的な学びの機会をデザインすることができます。

子どもたちの成長のために

JTBは、子どもたちの成長をサポートし続ける存在を目指し、教室外だけでなく、教室内で実施するプログラムの開発にも力を注いできました。多様なテーマに応じた教育プログラムを探究に活用することで、豊かで深い学びを実現することができます。

copyright © JTB Corp. all rights reserved.

JTBが運営・協賛する探究発表コンテスト&交流イベント 3つの特長

一流の研究者や
社会の一線で活躍する
審査員が審査を担当します



交流・協働イベントで
国内外の同世代と
探究の輪が広がります



幅広い分野や発表形式に
応じた多様な舞台を
ご用意しています





探究発表コンテスト&交流イベント 比較表 ①

【注】掲載情報は原則として25年度大会のものです。
情報は年によって変更される可能性がございます。最新情報は必ず各大会のWEBサイトなどでご確認ください。
大会ロゴをクリックすると各大会の公式WEBサイトにリンクします。

	❶Global Link Singapore	❷Global Link Australia	❸未来探究祭	❹つくば Science Edge	❺高校生国際シンポジウム	❻Change Maker Awards
テーマ	基礎科学/応用化学/社会科学	環境問題（自然科学、社会科学）	データ×地域探究	物理/化学/生物/地学・防災/数学・情報	13テーマ（※1）	【個人部門】「世界に伝えたい私の探究」/【チーム部門】「私たち×〇〇」
参加対象	日本、アジア各国の中高生	日本の中高生、世界各国の小中高生	未来探究ゼミナール実施校の生徒	国内外の中高生	国内外の高校生	日本国籍の中高生
参加単位	個人またはグループ	個人またはグループ	グループ	個人またはグループ	個人またはグループ	個人またはグループ
決勝開催場所	シンガポール	オーストラリア	東京都	茨城県つくば市	鹿児島市	東京都
決勝開催形態	リアル	リアル	ハイブリッド	リアル	リアル	リアル
予選	書類審査（事前）ブースプレゼン（現地）	書類審査	書類審査、動画審査	予備審査、書類審査	書類審査	書類審査、動画審査
決勝	ポスター発表ステージプレゼン	ステージプレゼン	ステージプレゼン	ステージプレゼン/サテライトプレゼン/ブースプレゼン/フロアポスタープレゼン	スライド発表/ポスター発表	ステージプレゼン
参加費（※2）	有料	有料	無料	有料	無料	無料
海外からの参加校	あり	あり	なし	あり	なし	なし
使用言語	英語	英語	日本語	日本語／英語（選択制）	日本語／英語（選択制）	英語
エントリーチーム数（概数）	130チーム	20チーム	300チーム	370チーム	400チーム	500チーム
他校との交流機会（※3）	★★★★☆	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★★	★★☆☆☆
主催団体	一社）次世代教育ネットワーキング機構	一社）次世代教育ネットワーキング機構/タンガルーマ・アイランドリゾート	一社）次世代教育ネットワーキング機構	つくばScienceEdge実行委員会	一社）Glocal Academy	一社）英語4技能・探究学習推進協会
Global Link との連携（招待・推薦）			ー	〇（招待・推薦）	〇（招待・推薦）	〇（招待・推薦）

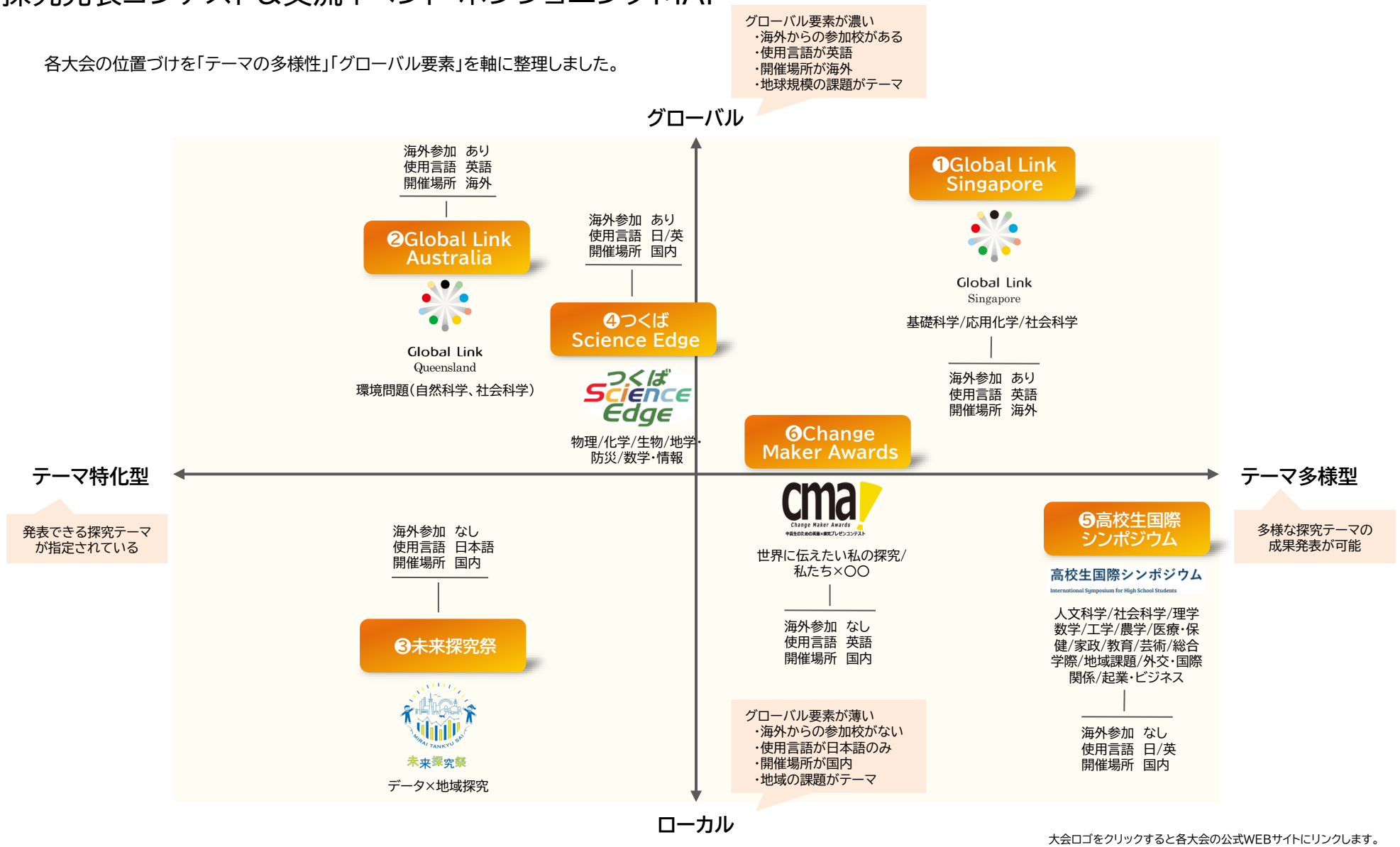
※1　高校生国際シンポジウムテーマ：人文科学/社会科学/理学数学/工学/農学/医療・保健/家政/教育/芸術/総合学際/地域課題/外交・国際関係/起業・ビジネス
※2　参加費が無料の大会でも、交通費、宿泊費、交流会費用などがかかる場合があります　※3　交流イベントの内容などをもとに5段階で評価

探究発表コンテスト&交流イベント 比較表 ②

	❶Global Link Singapore	❷Global Link Australia	❸未来探究祭	❹つくば Science Edge	❺高校生国際シンポジウム	❻Change Maker Awards
大会概要	中高生のための課題研究・探究の世界大会	初の国際舞台に最適な環境をテーマにした探究発表コンテスト	未来探究ゼミナール受講校が集う競争と共創のステージ	中高生のための国際科学アイデアコンテスト	高校生のためのハイレベルな課題研究コンテスト	中高生のための英語×探究プレゼンコンテスト
大会の特徴	●アジア各国の中高生とハイレベルな探究成果を英語で競い合える ●文理両分野のテーマに対応している ●海外の参加者との交流の機会が用意されている ●世界最先端の研究施設・企業の見学ツアーが用意されている	●自然豊かなクイーンズランド州、モートン島で開催 ●アジア、オセアニアで環境を探究する小中高生が参加 ●自然や動物保護の最前線の現場を体験できる ●規模が小さく参加者同士の交流機会が多い	●未来探究ゼミナールでまとめた成果物を使って大会に参加できる ●他校の参加者と交流・協働の機会が充実している ●Final STAGEは東大キャンパスとオンラインのハイブリッド開催	●アイデア段階でも応募できる ●世界一流の科学者と議論できる ●研究学園都市つくばの国際会議場が舞台 ●参加チーム数が多く多様な発表に触れられる ●書類審査全チームに対してフィードバックがある	●幅広い分野の研究成果を発表できる ●他校の生徒や専門家との交流機会が豊富 ●進路座談会など本気で課題研究に向き合う生徒に向けたイベントが豊富 ●バスで見学に来る学校もあるほど人気	●自分が夢中になっている探究について英語でプレゼンテーションを行う ●評価基準は英語力 2割、探究内容 8割 ●全国大会出場者には一人10～60万円の学習支援金が用意され、交通費宿泊費も全額補助される
こんな学校や生徒におすすめ	●ハイレベルな課題研究を海外で発表したい ●SSH、WWL指定校など、グローバル教育に力を入れている ●国内大会の出場経験がある生徒に国際舞台を経験させたい ●探究を通じて海外の同世代とつながりたい	●環境に関するテーマで探究を行っている ●初の国際大会に挑戦する生徒にちょうどよい大会を探している ●環境保護の現場や携わっている人から話を聞きたい	●授業で未来探究ゼミナールを実施している ●未来探究ゼミナールの成果発表の場がほしい ●学力等に関係なく、どんな生徒にも学外コンテストを経験させたい ●他校生との交流・協働の場面を重視している	●科学の探究に力を入れている ●生物部、化学部、物理部などがある ●初の学外コンテストにチャレンジしたい ●自分の探究の可能性を一流の科学者に評価してもらいたい	●文理問わず探究学習に力を入れている学校、課題研究の成果を試したい学校 ●ハイレベルな課題研究に取り組む全国の高校生と切磋琢磨したい ●総合型選抜で志望大学に進学したい	●グローバルコースや帰国生クラスがあるなど英語教育に力を入れている ●英語部などがある ●国内で英語発表の場を求めている ●自分の英語力を試したい
参加生徒の声	●同年代の生徒が英語で堂々と発表したり議論したりする姿をみて、刺激を受け、その後の英語や探究へのモチベーションになった。	●海外及び日本から参加の同世代と交流の機会を持ち価値観が変わった。	●金賞を取るつもりで望んでいたのでとても悔しかった。今までやってきたことを十分に発揮できたと思う。しかし、勝てなかった。他のチームの発表から良い場所を取り入れてこれからの成長に繋げたい。	●参加者や研修者たちとの議論を通し、自身の研究を深めたり、今後の方針を考える事ができた。	●他校生や専門家との交流で学びが深まった。 ●生涯の友人や師と出会えた。 ●探究学習の成果に自信を持てた。	●英語での発表に自信を持てた。 ●自身の探究内容が伝わって良かった。

探究発表コンテスト&交流イベント ポジショニングMAP

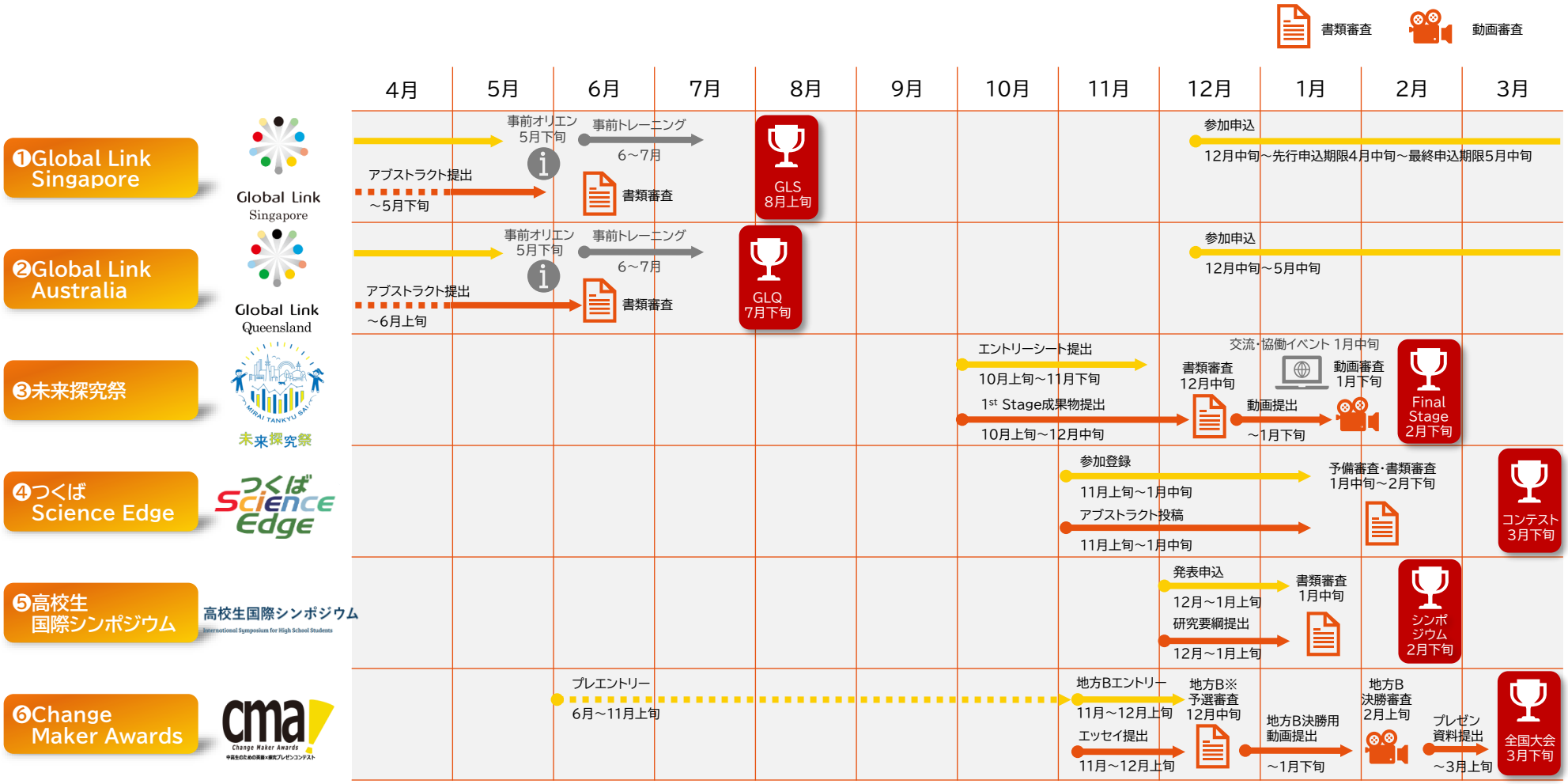
各大会の位置づけを「テーマの多様性」「グローバル要素」を軸に整理しました。



大会ロゴをクリックすると各大会の公式WEBサイトにリンクします。

探究発表コンテスト ＆ 交流イベント スケジュール

【注】掲載情報は原則として24年度大会のものです。
情報は年によって変更される可能性がございます。最新情報は必ず各大会のWEBサイトなどでご確認ください。
大会ロゴをクリックすると各大会の公式WEBサイトにリンクします。



※地方B：地方ブロック

探究活動別 コンテスト活用例

例①
地域課題を
テーマにした
探究活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	探究準備		学校で**未来探究ゼミナール**を受講（総合編8コマ ＋ データ分析編7コマ）								❸未来探究祭	
2年	地域課題に関する探究（個人またはグループ）										❺高校生国際シンポジウム	
3年	（総合型選抜）									（一般選抜）		

例②
地球環境を
テーマにした
探究活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	探究準備		地球環境に関する探究（個人またはグループ）								❹つくば Science Edge	
2年	内容の磨き上げ、英語での発表準備		❷Global Link Australia		Global Link Queensland	内容の磨き上げ		知的探究研修			❺高校生国際シンポジウム	
3年	内容の磨き上げ		❶Global Link Singapore		Global Link Singapore	（総合型選抜）				（一般選抜）		

GLS招待制度あり

例③
英語プレゼンを
想定した
探究活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	探究準備		グループ探究または個人探究、英語での発表準備								❻Change Maker Awards	
2年	内容の磨き上げ		❶Global Link Singapore		Global Link Singapore	内容の磨き上げ		知的探究研修			❺高校生国際シンポジウム	
3年	（総合型選抜）									（一般選抜）		

英語プレゼン

Global Linkオンライン事前トレーニングプログラム

❶Global Link Singapore 、❷Global Link Australia

企画運営

（注）掲載している情報は2026年6月時点のものです。
最新の情報は必ず公式WEBサイトなどでご確認ください。

世界とつながる中高生のためのグローバル課題研究コンテスト



概要

「Global Link」は、中高生のためのグローバル課題研究コンテストです。共通の興味関心を持つ各国の参加生徒に向けて、自身の研究内容を英語で発表し、議論や交流を行います。



アジア太平洋地域の中高生が各科学分野（基礎・応用・社会）に関する考えや研究成果を英語を使って国際舞台で発表する「**Global Link Singapore**」と、様々な海洋生物が生息する島で環境問題について考え、英語で発表する「**Global Link Australia** supported by Queensland 」の2つがあります。

Global Linkは同時に、海外の企業や研究者との交流の場や社会との接点を中高生に提供するためのプラットフォームです。これらを通して自分の価値観を見直し、グローバルな視点から自分の将来を考えるきっかけになります。

こんな中学生・高校生におすすめ！

◎海外で自分の研究成果を英語を使ってプレゼンしてみたい

◎同じ分野の研究を進める外国人同世代と交流したい

公式HP

●Global Link 2026 開催概要

2026年度

2026年度大会のエントリーは
2026年5月に締め切りました

Global Link Singapore 2026

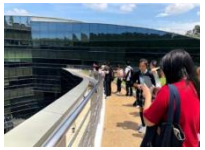
Global Link Singapore

【開催日】 2026年8月1日(土)～3日(月)
【開催場所】 ナンヤン工科大学(NTU)
【募集分野】 基礎科学分野、応用科学分野、社会科学分野
【発表形式】 ポスター発表、ブースプレゼン、ステージプレゼン
【言語】 英語





東南アジア経済の中心地シンガポールが舞台。名門大学や世界をリードする企業の雰囲気を体感できます。



【主催】 一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構
【企画運営】 JTBグループ

Global Link Australia supported by Queensland 2026

Global Link Queensland

【開催日】 2026年7月29日(水)～31日(土)
【開催場所】 タンガルーマ・アイランドリゾート
【募集分野】 環境保護、環境問題
【発表形式】 オーラルプレゼンテーション
【言語】 英語





クイーンズランドで活動する専門家から環境課題に関するレクチャーを受けたり、大学を訪問して見識を深めます。



【主催】 一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構、タンガルーマ・アイランドリゾート
【企画運営】 JTBグループ、タンガルーマ・アイランドリゾート

オンライン事前トレーニングプログラム 『Global Link オンライン事前トレーニング』

Global Link Online 事前トレーニングプログラム
Global Link Academy

課題研究ブラッシュアッププログラム 【全2回】 ＋ グローバルスキルアッププログラム 【全2回】

研究内容のブラッシュアップと、英語プレゼンテーションの「デリバリースキル」向上を目的として、約2ヶ月にわたる質の高いトレーニングプログラムをオンラインで提供します。

❸未来探究祭（さい） ～データを駆使して、地域の未来を切り拓け！～

未来探究ゼミナール受講校が集う競争と共創のステージ



概要

中高生がデータを活用しながら地域探究を行う授業パッケージ「未来探究ゼミナール」。その受講校が参加できる成果発表の場が「未来探究祭」です。「学校間でつながり合いながら探究を深めたい」という学校の声を受け、2023年より始まった「未来探究祭」。コンテスト“競争”だけではなく、全国の生徒同士でつながりあえる“共創”という2つの“きょうそう”をコンセプトにしており、ワークショップ等も充実したイベントとなっています。

MIRAI TANKYU SAI
未来探究祭





コンテスト概要

こんな学校におすすめ！

◎学校で未来探究ゼミナールを実施している
◎探究活動の成果発表の場を求めている
◎他校との交流の場が欲しい

【注】未来探究祭にエントリーできるのは、当年度に学校で「未来探究ゼミナール」を受講した生徒に限ります。

企画運営

（注）掲載している情報は2026年6月時点のものです。
最新の情報は必ず公式WEBサイトなどでご確認ください。

以下は2025年度大会の情報です。2026年度大会の情報はまだ公開されていません。

●未来探究祭 2025 開催概要　2025年度

【参加対象】　未来探究ゼミナールに参加した中学・高校生のグループ
1グループの生徒人数は、2名～7名まで

【Final Stage会場】 東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（東京都）

【スケジュール】

1st STAGE 書類審査 2025年12月12日(金)締切
授業で考えた内容をアブストラクトにまとめる

▼

2nd STAGE 交流＆協働ワークショップ 2026年1月17日(土)
学校の枠を超えた、他校生徒との交流・協働ワーク

（2025 実施内容）
＼＼ 修学旅行生に人気のお土産グランプリ／／
3校の生徒で構成されたブレイクアウトルームで、3県の特産品を掛け合わせた『修学旅行生に人気のお土産』を考えていただきました。考えたお土産は全体発表を行い、生徒による投票を経て、一番買ってみたいお土産No.1が選ばれました！




▼

3rd STAGE 動画審査 2026年1月23日(金)締切
発表動画の制作

▼　▽
▼ Another STAGE
▼ オンラインプレゼンテーション　2026年2月14日(土)
▼ 3rd STAGE敗退チームから1チームが復活し、Final STAGEに進出
▼　▽

Final STAGE プレゼンテーション 2026年2月22日(日)
発表＆他校生徒との交流・協働

東京大学伊藤謝恩ホールにて行われるFinal STAGEでは、3rd STAGE通過チームとAnother STAGEを勝ち抜いたチームがステージ上でのプレゼンテーションに挑みます。データや地域、探究等、各分野のプロが審査員となり、熱い質疑応答も繰り広げられます。またFinal STAGEでもワークショップ等の交流の場が用意されており、2nd STAGEでは画面越しに協働したメンバーと実際に会える機会になっています。最後には表彰式が行われ、1～3位のチームに審査委員長より表彰状が授与されます。

未来探究祭 2025 金賞受賞チーム



金賞

【学校名】 昭和学院高等学校
【チーム名】 Potatoman
【キャッチコピー】「白い絶景」の裏の危険
正しい知識を身につけ、解決せよ

未来探究祭に参加することで

❶ 探究活動の学びを、深めることが出来ます
❷ 他校の生徒との交流により、自己成長や新たな繋がりを持つことが出来ます。
❸ 2nd STAGE進出チームには、Certificate（活動証明書）を発行します。

❹つくばScience Edge

中高生のための国際科学アイデアコンテスト



概要

みんなのアイデアが「未来の科学」の扉を開く！
『つくばScience Edgeサイエンスアイデアコンテスト』とは、「未来の科学者」の芽を発掘し、育てるためのイベントです。
科学に関するアイデアを世界レベルの研究者・科学者の前でプレゼンテーションし、ディスカッションします。
発表する会場は、世界中の科学者による学会も開催される「つくば国際会議場」。本物と出会い、触れる楽しさを、ぜひ体感してください。

アイデア段階でOK！
このコンテストは、研究の最終成果が出ていなくても、「斬新なアイデアを思いついて、それが創造的なものだと確信した段階」や、「 アイデアを実践に移して見込みが得られている段階」でも応募いただけます。

【主催】 つくばScience Edge 実行委員会
（一般財団法人茨城県科学技術振興財団、つくば国際会議場、株式会社JTB）

こんな中学生・高校生におすすめ！

◎はじめての学校外コンテストにチャレンジしたい
◎自分の探究の可能性を一流の科学者に評価してもらいたい

（注）掲載している情報は2026年6月時点のものです。
最新の情報は必ず公式WEBサイトなどでご確認ください。

主催

●つくばScience Edge 2027 開催概要

2026年度

【本選開催日】 2027年3月26日(金)～27日(土)
【開催場所】 つくば国際会議場
【対象】 中学生、高校生
【発表内容】 夢のあるアイデアであること(今すぐの実現性は問わない)
【募集分野】 物理、化学、生物、地学、数学・情報
【発表形式】 オーラルプレゼンテーション、サテライトプレゼンテーション、ブースプレゼンテーション、フロアポスタープレゼンテーション
【言語】 日本語、英語
【募集期間】 2026年11月初旬～2027年1月中旬(予定)

公式HP

以下は2025年度大会の情報です。2026年度大会の情報はまだ公開されていません。

2026年1月12日（月・祝）	アブストラクト提出期限
2026年1月19日（月）	ワークショップ・お弁当・国際交流会 申込開始
2026年2月27日までに	アイデアコンテスト選考結果通知
2026年2月27日（金）	参加登録・ワークショップ・お弁当・国際交流会 申込締切
2026年3月上旬	参加のしおり 配信

「科学の研究者にとって必要な視点を伸ばしてほしい」という評価委員の思いから、本コンテスト独自の視点で、下記の賞を予定しています。

オーラル各賞
文部科学大臣賞、創造志向賞、探求志向賞、未来志向賞、オーラル特別賞
アイデア賞
アイデア賞
ポスター各賞
ポスター賞日本語部門、ポスター賞英語部門、ブースポスター賞
フロアポスター賞、クイーンズランド州政府観光局賞

受賞者には賞に応じて、Global Link Singapore、Global Link Australia supported by Queenslandの招待参加権や推薦参加権が授与されます。

●サイエンスワークショップ

最先端の科学を研究する企業、団体、大学等の協力により、多彩なワークショップを開催します。

●国際交流会

ゲームやアクティビティを通して、海外からの学生との交流をお楽しみください。

協賛

（注）掲載している情報は2026年6月時点のものです。
最新の情報は必ず公式WEBサイトなどでご確認ください。

❺高校生国際シンポジウム

高校生のためのハイレベルな課題研究コンテスト



概要

『高校生国際シンポジウム』とは、課題研究、探究活動の発表会および審査会です。人文社会学の研究から自然科学や数学、ビジネスの分野までの幅広い分野の研究成果をスライド部門またはポスター部門にて発表します。その他、各界をけん引する方々による基調講演やパネルディスカッション、研修会、参加者対象の交流会などがあり直に本物に触れる二日間のプログラムです。

スライド発表の最優秀発表グループおよび個人の中から、各分野の審査員による協議を行いグランプリを決定。文部科学大臣賞の授与とシンガポールで開催されるGlobal link Singaporeへの招待参加権が与えられます。また、各部門、分野の最優秀発表者は、Global Link Singaporeへの推薦参加資格が与えられるほか、表彰対象者には修了証を発行します。過去の表彰対象者が推薦・AO入試にて東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学等、多くの大学へ合格しています。

こんな高校生におすすめ！

◎ハイレベルな課題研究に取り組む全国の高校生と切磋琢磨したい

◎大会で優秀な成績を収め、総合型選抜で志望大学に進学したい

●第12回　高校生国際シンポジウム　開催概要　2026年度

【開催日】　**2027年2月16日(火)～17日(水)**

以下は2025年度大会の情報です。2026年度大会の情報はまだ公開されていません。

【テーマ】　「人類の英知の上に立ち，未来を創る」
【目的】　日頃の探究・研究活動の成果をスライド発表やポスター発表としてまとめ，生徒が自らの研究成果を発表するとともに，参加者間の交流を深めながら今後の進路選択や社会への理解を深めていく．
【開催場所】　宝山ホール(鹿児島市)
【発表形式】　スライド発表、ポスター発表
【発表言語】　日本語、英語

第11回 開催結果　2026年2月18日(水)～19日(木)
【参加人数・校数】　775名（見学者含む 2日間合計1,463名)、69校 （見学を含めた参加校数117校）

＜各部門最優秀校＞　（スライド発表）

■人文科学・教育
　佼成学園高等学校
■社会科学・社会課題
　島根県立松江北高等学校
■数学・物理学・地学
　東京都立大泉高等学校
■化学・環境
　宮城県仙台二華高等学校
■生物学
　国立大学法人奈良国立大学機構
　奈良女子大学附属中等教育学校
　（グランプリ）

（ポスター発表）

■人文科学
　東京都立立川高等学校
■教育
　東京都立大泉高等学校
■社会課題・ビジネス
　宮崎県立高鍋高等学校
■物理学・システム工学分野
　東京都立大泉高等学校
■物理学・化学・システム工学
　東京都立三鷹中等教育学校
■環境
　清風中学校・高等学校

**グランプリ受賞校には、Global Link Singapore招待参加権、
各部門の最優秀校には、Global Link Singapore推薦参加権が授与されます**

一般社団法人 Glocal Academy

【主催】一般社団法人Glocal Academy

公式HP



（イメージ）

❻Change Maker Awards

中高生のための英語×探究プレゼンコンテスト



概要

Change Maker Awards は英語4技能×探究学習のプレゼンテーションコンテストです。
従来の英語スピーチコンテストとは異なり、自分が夢中になっていることを実現しようとしているライバルたちと切磋琢磨するなかで、探究学習が深まり、仲間や支援の輪は広がります。コンテストに参加して、あなたの夢の実現に向けた第一歩を踏み出しませんか？当コンテストでは、そのための学習支援プログラムもご用意しています。

【主催】 一般社団法人英語4技能･探究学習推進協会
CMA実行委員会

Go! Do! Be!

公式HP

こんな中学生･高校生におすすめ！

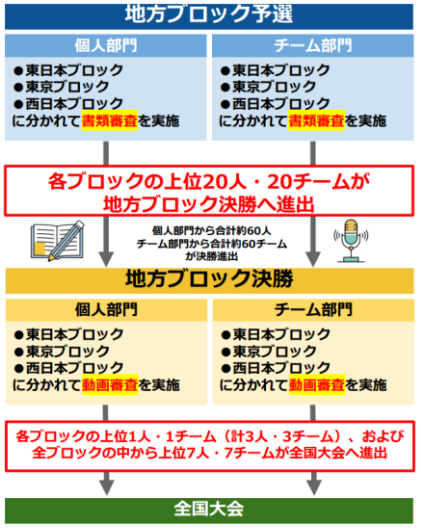
◎探究の成果を英語で発表したい
◎英語によるプレゼンテーションに挑戦してみたい

（注）掲載している情報は2026年6月時点のものです。
最新の情報は必ず公式WEBサイトなどでご確認ください。

協賛

●第9回 Change Maker Awards 開催概要 2026年度

【テーマ】 ◆個人部門 「世界に伝えたい私の探究」
◆チーム部門 「私たち×〇〇」
【スケジュール】 全国大会
2027年3月21日(日)
【全国大会会場】 東京国際交流館 プラザ平成
【発表言語】 英語



【地方ブロック予選エントリー受付締切】 2026年12月3日(木)

地方ブロック予選

2026年	10月2日（金）	地方ブロック予選のエントリー受付開始 ・エッセイ受付開始
	12月3日（木）	地方ブロック予選のエントリー受付締切 ・エッセイ受付締切
	12月4日（金）	地方ブロック予選審査開始
	12月15日（火）	地方ブロック予選結果発表 ・予選を通過した個人・チームは地方ブロック決勝へ進みます

地方ブロック決勝

期間中に「地方ブロック決勝説明会」をZoomにて開催します。（参加任意）

	12月16日（水）	地方ブロック決勝用動画受付開始
2027年	1月20日（水）	地方ブロック決勝用動画受付締切
	1月21日（木）	地方ブロック決勝審査開始
	2月9日（火）	地方ブロック決勝結果発表 ・決勝を通過した個人・チームは全国大会へ進みます

全国大会

※期間中に「事前ミーティング」をZoomにて開催します。（参加必須）

	2月10日（水）	プレゼン資料受付開始
	3月2日（火）	プレゼン資料受付締切
	3月21日（日）	全国大会開催

第7回 Change Maker Awards 主な入賞者

■個人部門 金賞受賞
愛知高等学校

■チーム部門 金賞受賞
福岡雙葉高等学校 5STARS

■チーム部門 Global Link賞受賞
頌栄女子学院中学校 green fashion

＜Global Link賞 審査員＞



太田 花菜
（おおたはなな）

Global Link Singapore

株式会社JTB
企画開発プロデュースセンター、Global Link 日本事務局。
株式会社JTB入社後、法人営業、Global Linkを始めとしたグローバル教育プログラムのオペレーション･企画運営に従事。

Global Link賞受賞チームには、Global Link Singaporeの招待参加権が授与されます

一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構

一般社団法人
次世代教育ネットワーキング機構
Institute of Education Network for Next Generation



JTBが社団法人を設立

2023年4月 JTBは「一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構」を設立しました。JTBグループのもつ交流や体験のノウハウと、教育に関わるあらゆるステークホルダーとのネットワークによって、“ココロ動かす学び”を創造し、次の時代を担う子どもたちの糧となるチカラの育成に貢献します。

設立の背景

予測困難な社会変化が進む現代、未来を切り拓くチカラを育むための教育は大きな変革期を迎えています。このような時代に、私たちは次世代教育ネットワーキング機構を設立いたしました。
当機構は、学校や子どもたちはもちろん、保護者、地域、企業、行政など、教育に関わる多様な皆様と共に、これからの教育を考え、実践していく場を提供いたします。そして、教育と社会をつなぐ架け橋として、日本の教育が持続的に進化していくための基盤を皆様と共に築いていきます。
未来を担う子どもたちが、変化の激しい社会をたくましく生き抜き、自らの可能性を最大限に開花できるよう、私たちは皆様と共に次世代の教育を創造いたします。

活動内容

教育活動支援
EDUCATION SUPPORT ITEMS





中高生のグローバルな探究活動や、学校のカリキュラム・マネジメントを支援します
#生徒向けイベント #教育活動コンサルティング #教育プログラム監修 #グローバル教育支援

ネットワーク形成
NETWORKING

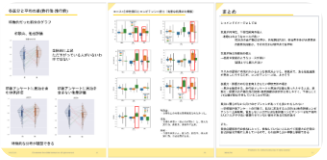




大学、研究機関、有識者などと、次世代教育実践のためのネットワークを形成します
#教育関係者向けイベント #教育関連機関連携 #会員

調査研究
RESEARCH AND STUDY





次世代教育に関する各種調査や、カリキュラム・マネジメントに関する研究を行います
#調査 #研究

法人概要

名 称	一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構
名 称(英文名)	Institute of Education Network for Next Generation
略 称	ENN
所在地	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング54階
MAIL	contact@edunet.or.jp
代表理事	福井 貴裕





感動のそばに、いつも。